

# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	富士宮市宮万野住宅 C棟	階数	地上5F
建設地	静岡県富士宮市万野原新田字机島	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	90人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年12月 予定	評価の実施日	2019年8月1日
敷地面積	3,129㎡	作成者	中澤 稔夫
建築面積	704㎡	確認日	2019年8月30日
延床面積	2,829㎡	確認者	中澤 稔夫



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (46 kg-CO2/年・m2)

②建築物の取組み 88% (40.5 kg-CO2/年・m2)

③上記+②以外の 88% (40.5 kg-CO2/年・m2)

④上記+ 88% (40.5 kg-CO2/年・m2)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

音環境	3.0
温熱環境	4.0
光・視環境	2.9
空気質環境	3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

機能性	3.0
耐用性	3.0
対応性	2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.8

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR のスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

水資源	3.4
非再生材料の	3.0
汚染物質	2.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

地球温暖化	3.4
地域環境	3.0
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項	
総合	その他
0	0
<b>Q1 室内環境</b> 全面的にF☆☆☆☆の材料を使用するなど十分な対策をすることにより、室内環境に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 耐用年数の長い材料や防汚性材等を採用し、建物の維持管理に配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b> 適切な外皮性能を確保するとともに、LED照明等による設備システムの効率化を計画することにより、エネルギー消費を低減させることに配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水機器を使用することで使用水量の低減を図っている。
	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 外構緑化指数=27.74%
	<b>LR3 敷地外環境</b> 光害対策ガイドライン「良い照明環境を得るためのチェックリスト」をもとに光害対策に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される